

イノチオみらい株式会社(愛知県)

GLOBALG.A.P. ミニトマト 2017年取得

所在地：愛知県豊橋市新西浜町1 面積：3.9ha（栽培棟3.6ha）

応募区分：個別経営の部 構成員：65名

栽培品目：ミニトマト



イノチオファーム豊橋の全景

▼GAPに取組んだきっかけ

- 農林水産省補助事業「平成27年度次世代施設園芸導入加速化支援事業」を活用して、多連棟式の高軒高ハウス（3.6ha）を整備
- 独自の施設園芸の栽培技術の確立とその普及、生産した農作物の販売の安定、輸出も視野に入れた取組を行う中で、GAP認証の必要性を感じ、平成29年4月、ミニトマトでGLOBALG.A.P.認証を取得

▼GAPの継続に向けた取組

- 従業員全員が農業未経験者。OJTの充実を図りつつ、自社でGAP運営管理の規程集を作成し、社内で運用するとともに、GAPや収穫物の衛生管理の講習を定期的を実施
- 当初は全ての農作業を紙媒体で管理していたが、農作業向けの労務管理アプリを導入
 - ⇒社全体で1,000h/年の労働時間を削減
- ユーザーからのクレーム（裂果等）があった際に、対応票に記入し、原因追及から改善まで行うことにより、社員の品質管理の意識が向上
 - ⇒クレーム率が令和2年度の0.43%から、令和3年度は0.21%と大きく減少

店頭での説明用POP→



▼生産効率の向上に向けた取組と効果

- 廃液中のリン含有量を抑えるため、リンの施用量を慣行比2割削減をした上で、削減前と同等の生育量を確保
- 隣接する下水処理場の放流水熱の利用や、生育が促進される時間帯に限定した炭酸ガス施用等を実施
 - ⇒トマト1kgの生産で発生するCO₂排出量（重油・電気等をCO₂換算）が令和3年度は1.94kg/kgと5年間で約6割削減
- GAP認証を取得したことで、地域にある大手スーパーへの販路が拡大、年間200tのGAP認証ミニトマトを新たに出荷
- 農福連携にも取り組み、複数の障がい者が生産、出荷に係る業務を実施

▼地域への波及

- 農業法人を含む民間企業、公的機関、教育機関等からの研修を積極的に受け入れ（2022年度400名以上）、GAPやSDGsの取組を紹介



自社で作成したGAP運営管理規程



小売店舗内に並ぶイノチオみらい(株)が生産したミニトマト